



福井銀行×福井キャピタル&コンサルティング
～特別調査レポート～

「Afterコロナ時代における成長産業分野に関する福井県内企業の意識調査」

A Survey on attitudes of companies in Fukui prefecture,
regarding the growth industry fields in the Post COVID-19 world

2021年11月 発行

株式会社 福井銀行
株式会社 福井キャピタル&コンサルティング

「Afterコロナ時代における成長産業分野に関する福井県内企業の意識調査」

株式会社 福井キャピタル&コンサルティング

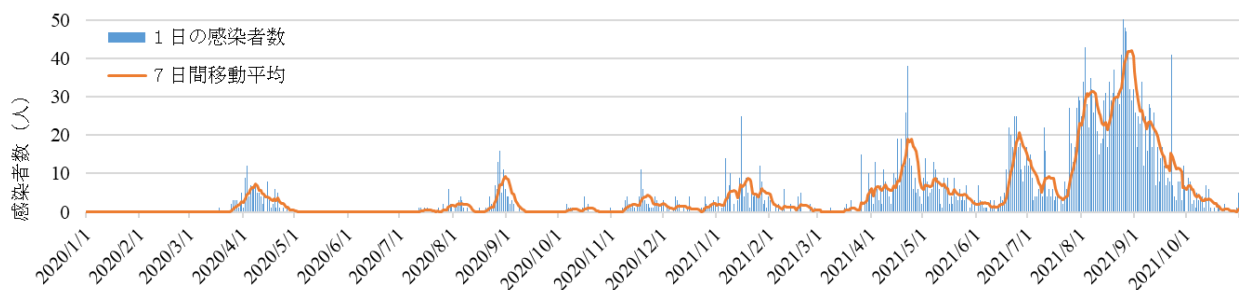
前田英史*・藤田あさ香・角屋敷直蔵・水上佳朗・松浦忠義

1. はじめに

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）は、2019年12月に、中華人民共和国の湖北省武漢市にて最初の症例が報告されて以降、世界中で感染が拡大しました。事態は、今年に入ってから収束することなく一進一退を繰り返して、個人・企業の社会経済活動に大きな影響を及ぼしています。

2021年7月～9月にかけては、感染力が強いとされる変異株「デルタ株」に置き換わり、各地で1日の感染者数、7日間移動平均ともに最高値を更新しました。9月下旬には、各地で新規感染者数が減少傾向に移行し、9月30日に、各地で発出されていた緊急事態宣言・まん延防止等重点措置が解除され、10月以降、社会経済活動が少しずつ再開されています。

株式会社福井銀行と株式会社福井キャピタル&コンサルティングでは、今般、2020年9月に、県内企業のみなさまを対象に、新型コロナウイルス感染症の企業活動への影響が落ち着いた後のAfterコロナ時代における新たな成長産業分野について、特別調査を行いました。本稿では、特別調査の結果を分析し、Afterコロナ時代における県内企業が考える成長の方向性について考察します。



図表 1. 福井県内の感染者数の推移

2. 調査概要

福井銀行景気動向調査 第27回

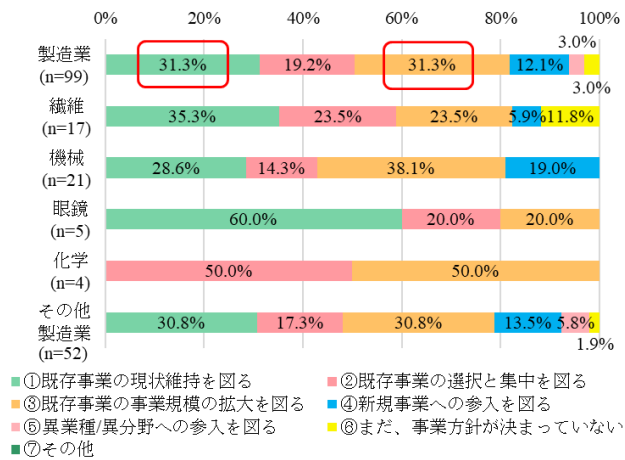
- ・調査対象：福井県内企業1,354社
- ・調査時期：2021年9月初旬
- ・調査方法：記名式アンケート
- ・回答数：367社※（回答率27.1%）

※上記は、景気動向調査の回答数です。本特別調査への質問については、一部のみの回答も含みます。

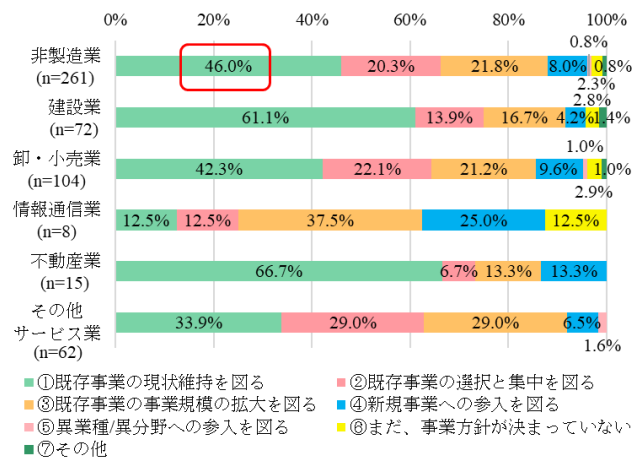
3. 調査分析結果

3-1. Afterコロナ時代における事業方針

Afterコロナ時代における県内企業の事業方針について業種別でみると、製造業では、「既存事業の現状維持を図る」と回答した企業が31.3%、「既存事業の事業規模の拡大を図る」と回答した企業が31.3%となりました。一方で、非製造業では、「既存事業の現状維持を図る」と回答した企業が46.0%となりました。特に、前回調査にて、今回の新型コロナウイルス感染症の企業活動への影響が比較的小さかったと回答した建設業で61.1%、不動産業で66.7%が「既存事業の現状維持を図る」と回答しており、新型コロナウイルス感染症の企業活動への影響の程度によって、今後の事業方針に異なる傾向がみられました



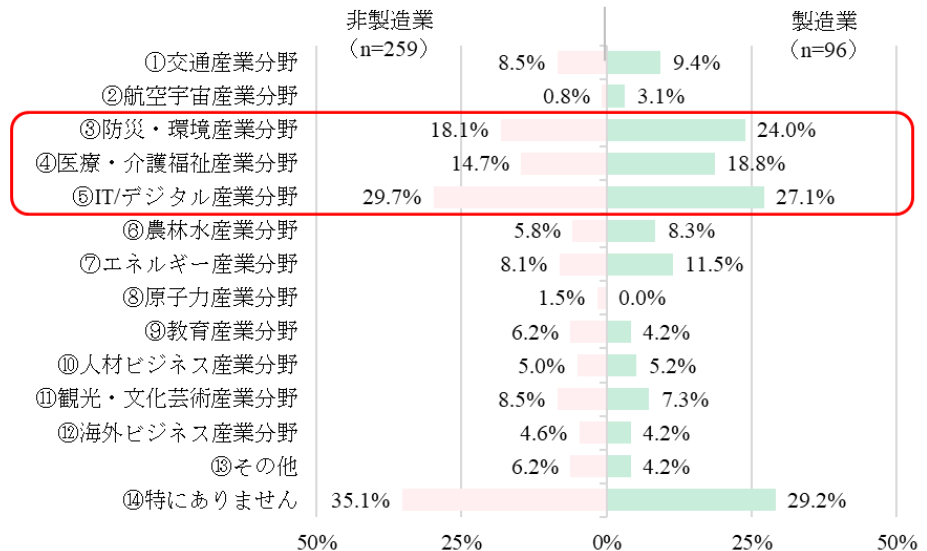
図表 3-1-1. 製造業



図表 3-1-2. 非製造業

3-2. Afterコロナ時代における成長産業分野

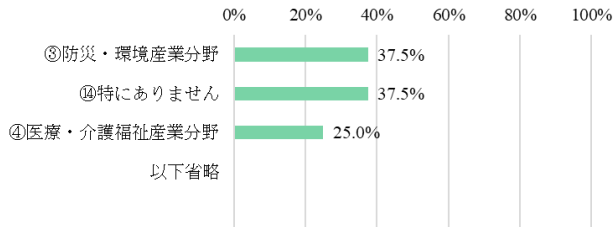
Afterコロナ時代における県内企業が考える成長産業分野について業種別にみると、「特にありません」とした回答を除くと、製造業、非製造業ともに、「⑤IT/デジタル産業分野」が最も多く、次いで「③防災・環境産業分野」、「④医療・介護福祉産業分野」の3つの産業分野を回答した企業が多くみられました。



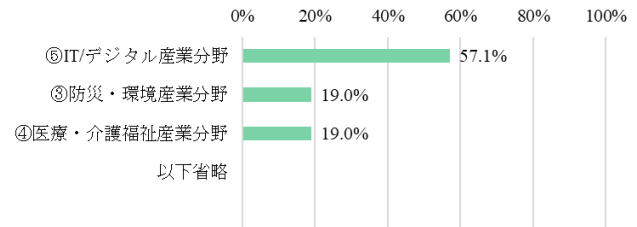
図表 3-2-1. 製造業と非製造業

次に、図表3-2-2から図表3-2-11に、業種ごとに上位5位の回答を示します。

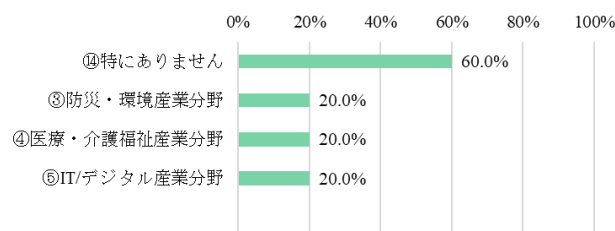
回答の傾向をみると、特に「⑤IT/デジタル産業分野」は、繊維を除くすべての業種において、回答の上位3位以内に入っており、今後の成長産業分野としての期待値が高いことが読み取れました。



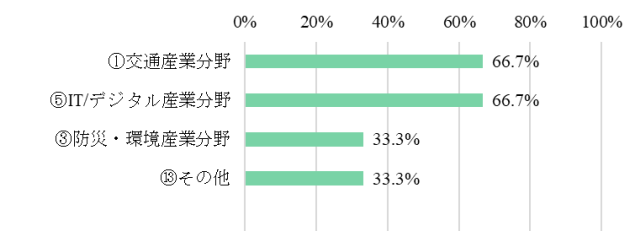
図表3-2-2. 繊維 (n=16)



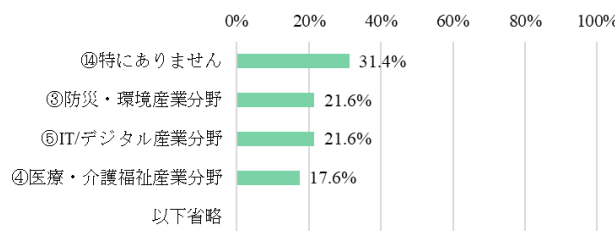
図表3-2-3. 機械 (n=21)



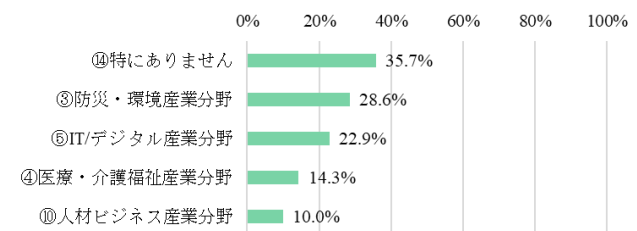
図表3-2-4. 眼鏡 (n=5)



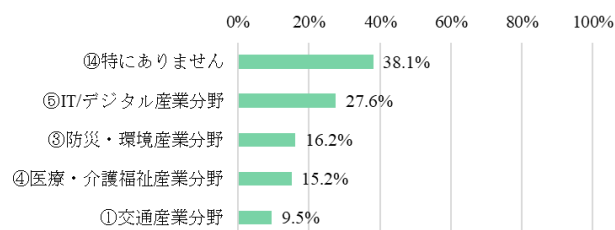
図表3-2-5. 化学 (n=3)



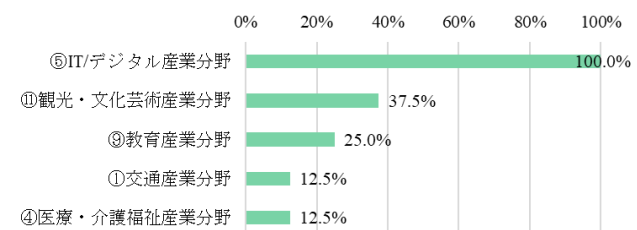
図表3-2-6. その他製造業 (n=51)



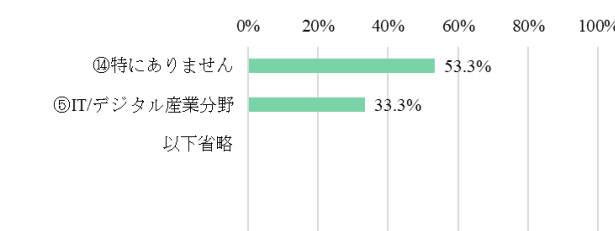
図表3-2-7. 建設業 (n=70)



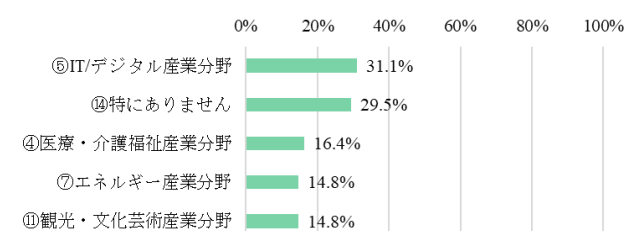
図表3-2-8. 卸・小売業 (n=105)



図表3-2-9. 情報通信業 (n=8)



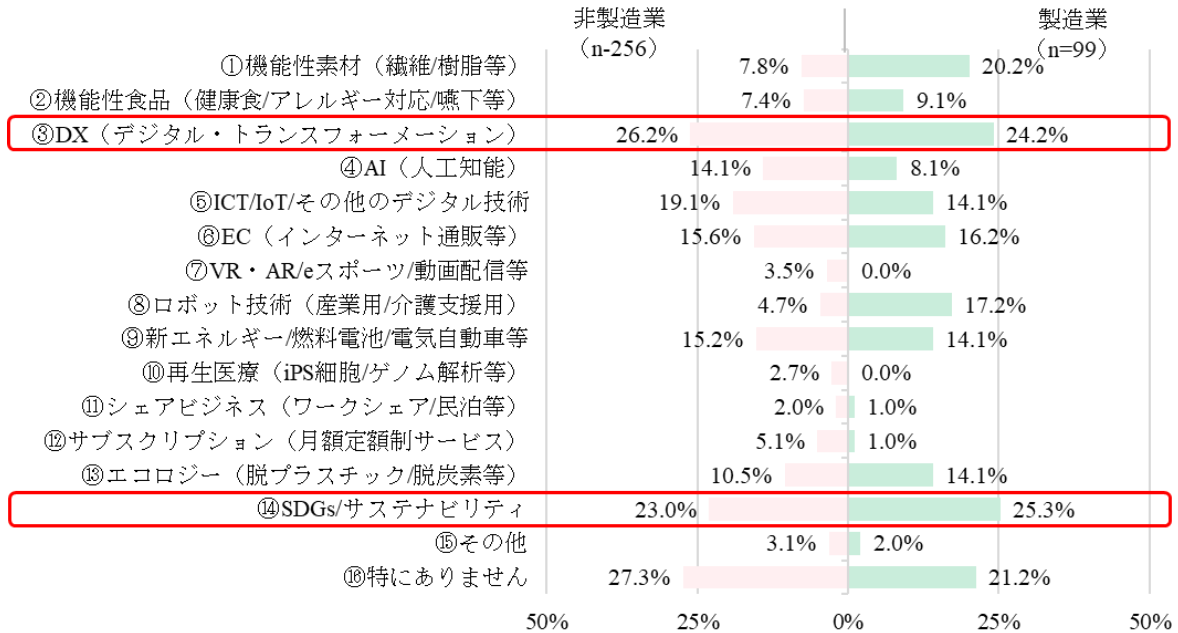
図表3-2-10. 不動産業 (n=15)



図表3-2-11. その他サービス業 (n=61)

3-3. Afterコロナ時代におけるビジネス・キーワード

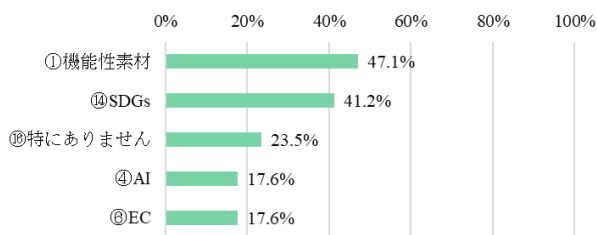
Afterコロナ時代における県内企業が考えるビジネス・キーワードについて業種別にみると、「特にありません」とした回答を除くと、製造業、非製造業ともに、「⑧DX（デジタル・トランスフォーメーション）」と「⑭SDGs/サステナビリティ」の2つのビジネス・キーワードを回答した企業が、それぞれ25%程度ずつみられました。



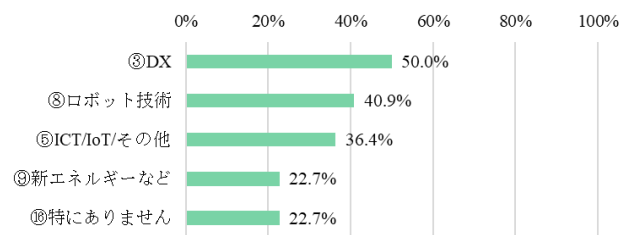
図表 3-3-1. 製造業と非製造業

次に、図表 3-3-2 から図表 3-3-11 に、業種ごとに上位5位の回答を示します。

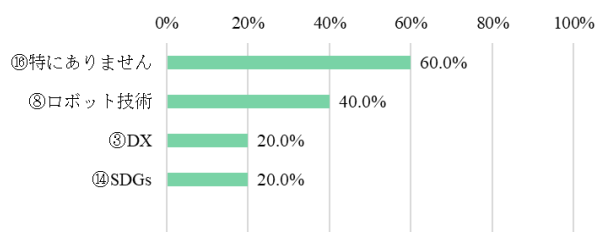
回答の傾向をみると、特に「⑧DX（デジタル・トランスフォーメーション）」は、繊維とその他製造業を除くすべての業種において、回答の上位5位以内に入っており、今後のビジネス・キーワードとしての期待値が高いことが読み取れました。



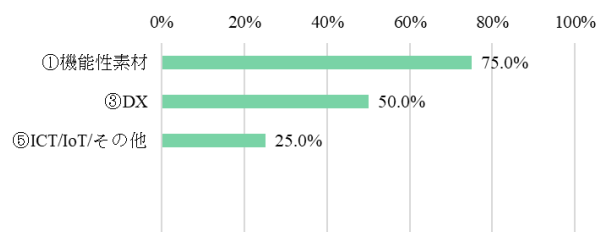
図表 3-3-2. 繊維 (n=17)



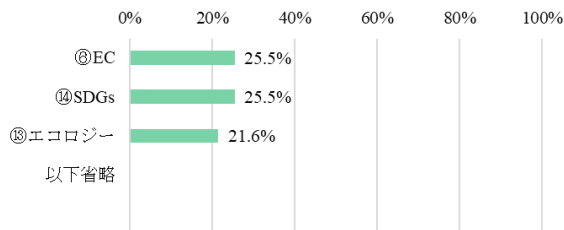
図表 3-3-3. 機械 (n=22)



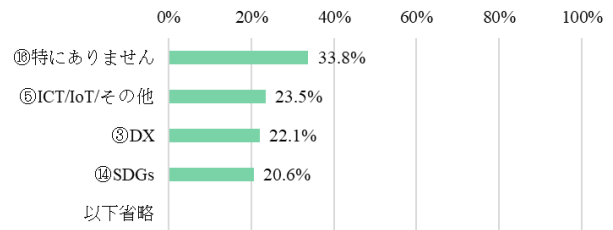
図表 3-3-4. 眼鏡 (n=5)



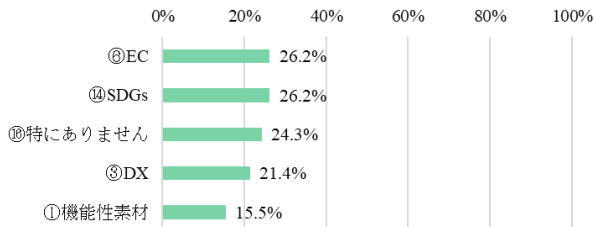
図表 3-3-5. 化学 (n=4)



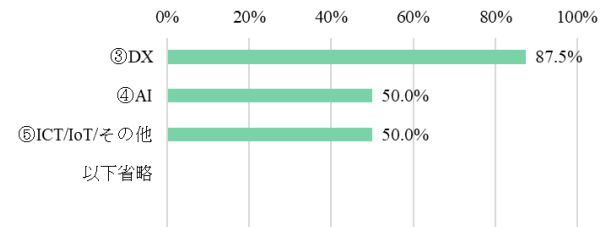
図表 3-3-6. その他製造業 (n=51)



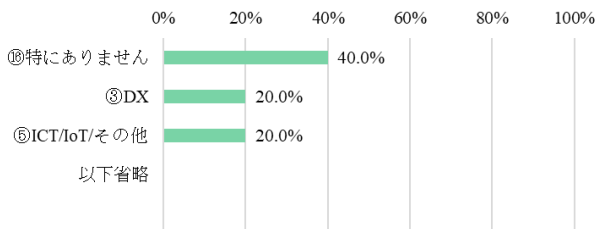
図表 3-3-7. 建設業 (n=68)



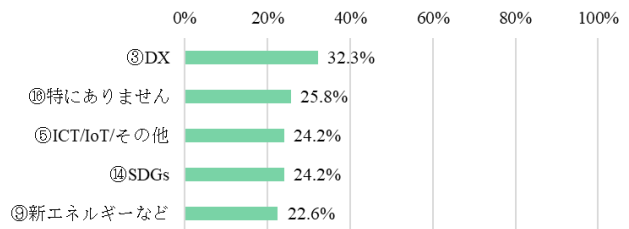
図表 3-3-8. 卸・小売業 (n=103)



図表 3-3-9. 情報通信業 (n=8)



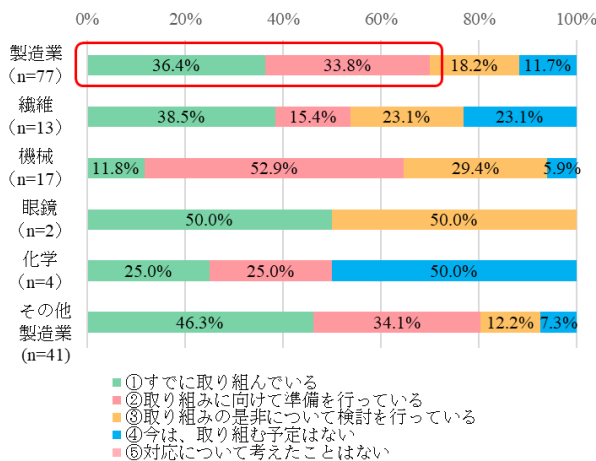
図表 3-3-10. 不動産業 (n=15)



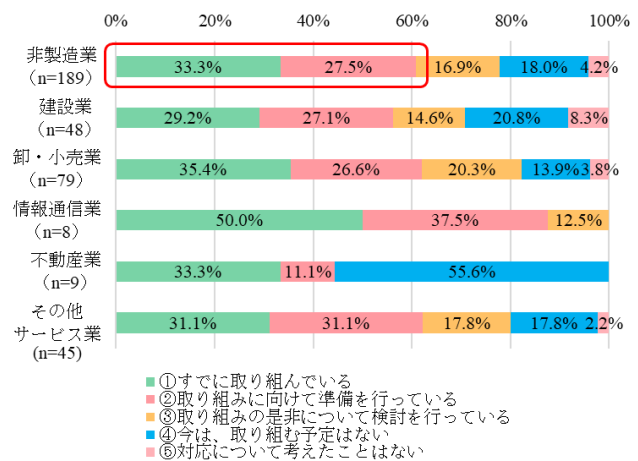
図表 3-3-11. その他サービス業 (n=62)

3-4. ビジネス・キーワードへの取り組み状況

Afterコロナ時代における県内企業のビジネス・キーワードへの取り組み状況について業種別にみると、製造業、非製造業ともに、「すでに取り組んでいる」と「取り組みに向けて準備を行っている」と回答した企業が、それぞれ合計で60%を超えており、今後の事業展開に対して前向きな傾向がみられました。



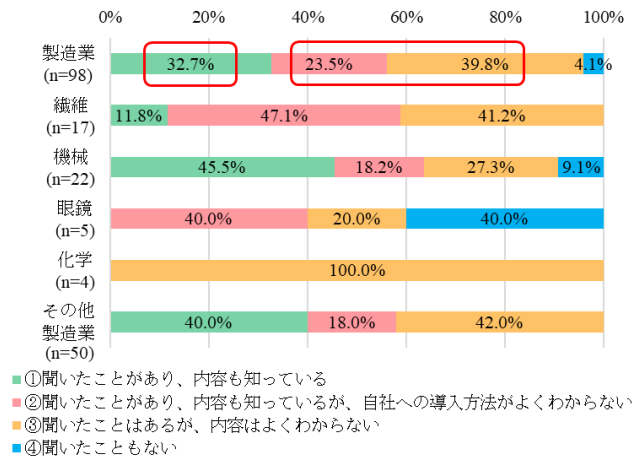
図表 3-4-1. 製造業



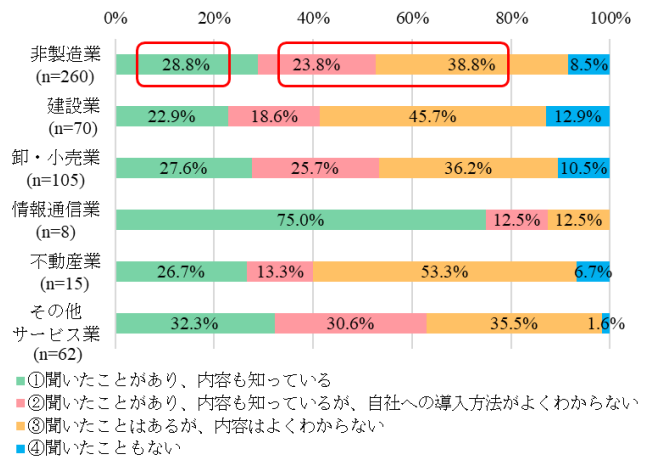
図表 3-4-2. 非製造業

3-5. デジタル・トランスフォーメーションの認知度

県内企業のDX（デジタル・トランスフォーメーション）の認知度について業種別でみると、製造業、非製造業ともに、「聞いたことがある」と回答した企業が、それぞれ合計で90%を超えており、DX（デジタル・トランスフォーメーション）の【認知度】が非常に高い状況がみられました。一方で、「聞いたことがあり、内容も知っているが、自社への導入方法がよくわからない」と「聞いたことはあるが、内容はよくわからない」と回答した企業は、それぞれ合計で60%を超えており、DX（デジタル・トランスフォーメーション）の【理解度】には、企業間で差があることが読み取れました。



図表 3-5-1. 製造業



図表 3-5-2. 非製造業

3-6. まとめ

今回、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の企業活動への影響が落ち着いた後のAfterコロナ時代における新たな成長産業分野に関する意識調査により、県内企業の意識として、今後の事業展開に対して比較的前向きな傾向にあることが確認できました。特に、今後期待される成長産業分野として「IT/デジタル産業分野」を挙げた企業が多く、また、今後期待されるビジネス・キーワードとして「DX（デジタル・トランスフォーメーション）」を挙げた企業が多くみられました。特に、DX（デジタル・トランスフォーメーション）については、9割以上の高い認知度が確認されましたが、一方で、6割以上の企業が、理解度の面で何らかの課題を持っていることが読み取れました。

株式会社福井銀行では、2021年10月に発行しました地域経済情報誌「福銀ジャーナル2021爽秋号」の巻頭記事において、「デジタル・トランスフォーメーションのすすめ－不確実な状況で事業を継続し、成長につなげるために－」を掲載しております。本レポートとあわせてご一読いただけますと幸いです。

（了）

－ 本調査レポートに関するお問い合わせ先 －

株式会社 福井キャピタル&コンサルティング

電話：0776-43-1120

（担当：松浦、水上、前田）